



## ごあいさつ

東日本大震災の発生から10年が経過いたしました。

また、この間に平成28年台風第10号及び令和元年台風第19号によって、2度にわたり自然災害に見舞われ、被災された方々の一日も早い生活再建や産業の再生に向け、これら自然災害からの復興を最優先に取り組みを進めているところであります。

当市では、平成28年3月に「子どもたちに誇れる 笑顔日本一のまち 久慈」を基本理念とする第2次久慈市総合計画基本構想を策定し、まちづくりの基本は「ひと」とであると捉え、「人」と「人」、「地域」と「地域」のつながりや支え合いの力をさらに高めながら、誰もが笑顔で安心した暮らしを営むことができる、次代を担う子どもたちに誇れるまちづくりを、市民一体となって進めているところであります。前期基本計画期間では「雇用・所得環境の改善」、「結婚・出産・子育て・教育環境の整備・充実」、「Kターンの促進」等により少子化、人口減少対策に取り組んできたところであります。

今般策定しました後期基本計画は、この第2次総合計画の後期5年間の施策の方向性を示すもので、基本構想で定める4つの施策の基本方針を継続して推進するとともに、新たな社会的課題である新型コロナウイルス感染症の拡大や働き方改革等への対応も考慮したところであります。

また、施策の推進に当たっては、平成27年に国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の考え方を活用し、横断的な施策の取り組みや多様なステークホルダーとの連携による課題解決を目指していくものであります。

本計画が着実に推進されるためには、市民と行政との積極的な関わりが必要であると考えていることから、市民の皆様の一層のご理解とご協力、そして市政への積極的な参画をお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定にあたり、ご尽力を賜りました策定検討委員会の委員をはじめ、市民満足度アンケート、パブリックコメントなどにより、貴重なご意見・ご提言をお寄せいただきました市民の皆様に対し、心から感謝を申し上げ、結びとさせていただきます。

令和3年3月

久慈市長 遠藤 譲 一